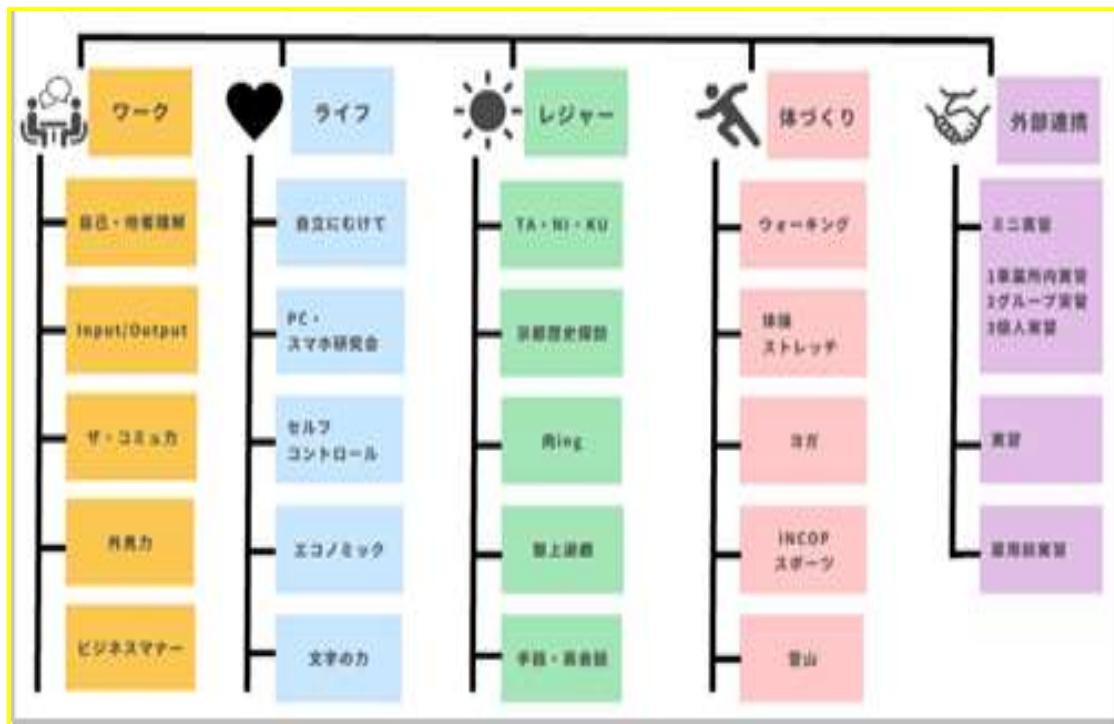


# 「やってみよう！」を本人の中に位置づける ～経験学習理論をもとにキャリア発達を促す自己サイクルの根を～

○森 玲央名(就労移行支援事業所INCOP京都九条)  
日下部 隆則(同上)

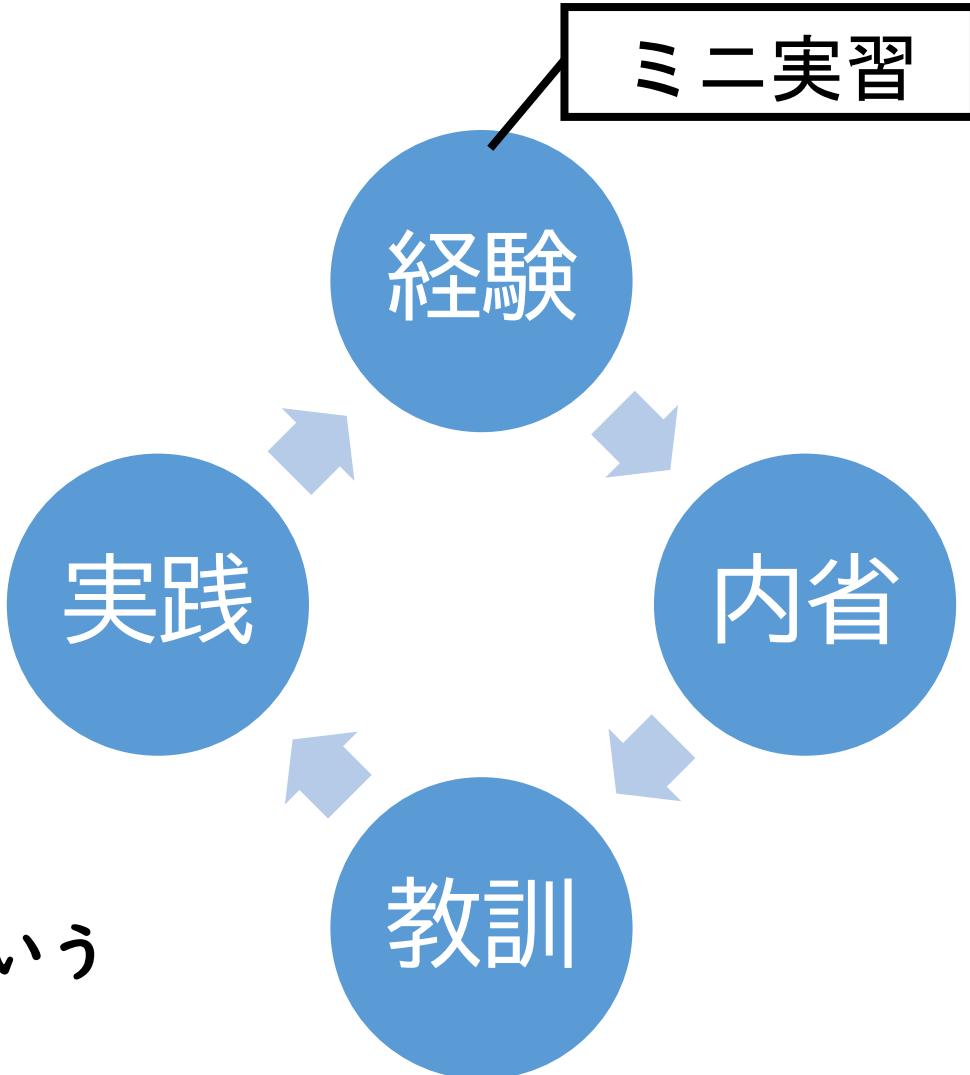
# 就労移行支援事業所INCOP京都九条

- 2023年2月に開所
- 社訓「やってみよう！」
- 「ミニ実習」が大きな軸の  
「超実践型トレーニング」
- 就労だけではない「WorkとLifeのINCOP」



## ミニ実習と経験学習サイクル

経験学習理論における  
経験学習サイクルでは、  
『ミニ実習』が『経験』  
その『経験』を  
実習の振り返りという  
『内省』によって、  
『教訓』に昇華し  
『実践』へつなげ、  
新たな  
『ミニ実習』 = 『経験』という  
スパイラルを回す



# KPT法を応用した『内省支援紙』

- ・『内省』の支援  
KPT法を取り入れた  
『内省支援紙』を作成
- ・K(Keep)P(Problem)T(Try)の  
前段階として  
r(気づきrealize)と  
f(気持ちfeeling)を追加
- ・書き出したrf-KPTをもとに  
対話を起こす  
『経験』を深く『内省』し、  
『教訓』や次のハードル・  
目標を導くことを目的とする

リフレクションシート（内省支援紙）		
氏名	場面	内省対象期間
今回のハードル（目標設定）		
		自己評価 他者評価
rf-KPT		
<p><u>気づき(realize)</u></p> <p><u>今までいること・続けるべきこと(Keep)</u></p> <p><u>誰に話したい(Public)</u></p> <p><u>次に試したいこと(Try)</u></p>		<u>気持ち(feel)</u>
次のハードル（次の目標）		

# 『経験』を本人の夢・希望とつなぐ『将来航路図』

- 一つ一つの経験学習サイクルを本人の夢や希望に関連付けていくために、PATHを簡略化した『将来航路図』を作成
- 本人と対話しながら夢・希望と今の実態をつなぐ支援紙として活用
- 『内省支援紙』とKPを共通の項目としている
- 就労意向は定期的に記入している『就労意向調査』用紙と項目を共通化

将来航路図 PATH—Planning Alternative Tomorrow with Hopes よりおこなわれるための計画		氏名:
あなたの希望・夢		
あなたの現在の状況		
いつ頃から働きたいか 希望する職業	就業希望時間 希望する作業	時間 日/週
選択順位 (1位:1最高位) 社会的・経済的 子供	就業 就労 就労可能 就労困難	就業可能 就業困難
求められる力(希望・夢・認知を実現するために)		
すべきこと(自己活性化のため)		
目標	あなたがすること	実現すること
目標	あなたがすること	実現すること
目標	あなたが做的事情	実現すること
あなたの今の状況(問題)に付随した) keep(できていること・続けること)		
問題		
問題		

## 実施による成果と課題

- ・ 経験学習モデル、経験学習サイクルを意識することで、“INCOP”の“やってみよう”的効果がさらに広がる手ごたえを感じている。
- ・ そのためには『経験』『実践』とともに、そこでどのような自己理解を得ているのか、またそこからどのような『将来設計』をしているのかを言語化を通して把握していくことが大変重要になる。

## 今後の展望

- ・ 利用者の願いや実態を把握しながら、個々の特性や性格などに応じて、効果的なタイミングで『内省』と『将来設計』に取り組み、『いま、なんのために、“INCOP”に来ているのか』をしっかりと共有しながら、主体的に就労に向かって行動できるような支援を今後も心掛けていきたい